

# 133 カワガラス

(スズメ目)

兵庫県ランク:C

*Cinclus pallasii*

繁殖個体群:C 越冬個体群:B 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

## 種の概要

北海道、本州、四国、九州では留鳥。兵庫県でも周年見られる。溪流に周年生息し、岩の隙間や滝の裏、砂防ダムの水抜き穴などにコケなどを利用して巣を造る。カワゲラやカゲロウなどの水生昆虫類を食べる。冬には、河川中流のやや開けたところにも姿を現す。



写真提供:三谷康則

## 国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、隠岐、四国、九州、屋久島、トカラ列島

## 県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、西宮市、(洲本市)、(芦屋市)、豊岡市、(宝塚市)、(川西市)、三田市、篠山市、養父市、丹波市、朝来市、(淡路市)、宍粟市、猪名川町、多可町、神河町、(上郡町)、(佐用町)、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



## 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少

## 県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

かつては県内各地に生息し繁殖していたが、近年の溪流の環境改変により多くの生息地が失われた。最近では、さらに人による攪乱によって、さらに減少傾向が続いている。

## 保護上の留意点

溪流の環境が大きく変わったことや溪流への人の入り込みが減少要因であることから、溪流の改修にあたっては、本種が営巣できる環境の確保または創出、および水量の確保と水生昆虫類が生息できる水辺環境の再生が重要。また、本種が生息する溪流では、繁殖期における立ち入り制限が必要。